

美術研究科 博士（後期）課程

学修の成果にかかる評価及び修了の認定に当たっての基準に関すること

1 学修成果にかかる評価の基準

評価基準

- ・ 授業科目の履修の認定は、試験によるものとします。
- ・ 修了に必要な単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文等の審査及び最終試験に合格したときは、本学大学院博士（後期）課程の修了を認めるものとします。

<博士論文等の評価の指標>

本学美術研究科博士課程における学位取得に求められるのは、作品制作・プロジェクト等を主とする研究領域においては、「ものの見方」や価値観の新たな地平をきりひらくような創造的研究であり、芸術学等の研究領域においては、芸術に関する高度な学術研究です。

2 修了の認定に当たっての基準

(1) 修了に必要な修得単位数

履修区分	授 業 科 目	履 修 年 次				履 修 単 位		
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	小 計	中 間	合 計	
必修科目	研究領域研究指導							11
	造形計画論研究	1 (原則として1, 2年 次のどちらかで履修)			1	3		
	総合制作・理論演習	履修期間中に2回の発表 1回1単位			2			
各領域 必修科目	領域研究演習（日本画）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（油画）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（版画）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（メディア・アート）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（環境デザイン）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（プロダクト・デザイン）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（陶磁器）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（漆工）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（染織）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（産業工芸・意匠）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（保存修復）	2	2	2	2	8	8	
	領域研究演習（芸術学）	2	2	2	2	8	8	

3 取得可能な学位

修了生には、博士（美術）の学位を授与します。